

【Elmalhara】

解説

■ 神殿

嵐の神殿。小神。

■ 称号

“育み手”。エルマルの別名の一つ。

■ 概略

暖かさ、明るさなど植物の成長に必要な太陽の豊穡としてのエルマルを称える時の神名。

エスロラの一年夫としてエルマルは日向に適応した花を贈り、その成長に必要な明るく暖かな天候をもたらした。その豊穡を求めて、エルマルの氏族はもちろん、他の氏族のものであっても稀に信仰されている。

組織

■ 相、カルト

エルマルの下位カルト。

参考文献

- ・『Strom Tribe』 p.54